

寄稿 うみコン2023に行ってきました



令和5年2月21日(火)に横浜市役所でうみコン2023（海と産業革新コンベンション）が開催されました。うみコンは、基調講演やシンポジウム、企業等によるパネル展示などで構成する海洋産業に特化したイベントですが、関東運輸局管内の造船と船用事業者の方々がパネル展示されるとのことで、少しの時間でしたが会場の雰囲気味わってきました。

パネル展示をされていたのは宇津木計器さんと横浜工作所さんで、宇津木計器さんはこれで4回目の展示になるとのこと、喫水計測装置を用いた波高計測の手法についてパネル展示され、電子傾斜計のデモも搭載実績のあるコンテナ船の模型で、来場者のみなさんに理解されやすい工夫をこらしていました。

横浜工作所さんは、初めてのパネル展示ということで、技術を磨き続けた100年というテーマで船舶修理のエキスパートとして、その磨かれてきた技を紹介されていました。二宮社長を筆頭に若手社員とベテラン社員が誇らしげに説明されている姿は、とても頼もしく感じました。

管内の造船業・船用工業・船具業の業界団体では、このかいこう館を通じて未来の業界を担う若者に海や船に関する仕事を知ってもらい、ゆくゆくは就職先として選んでいただけるよう活動し始めたばかりです。関東運輸局としても、海に囲まれた我が国に欠かせないこの業界の将来の担い手確保のため皆さんと連携して取り組んでまいります。

令和5年2月24日

関東運輸局 船舶産業課長 築山直樹